

# 海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和4年10月31日

## 【観測結果（調査日：10月24、26、27日）】

10月24日に渥美外海、26日に伊勢湾北部、27日に伊勢湾南部の観測を実施しました。海面水温は20.4℃から25.5℃となっており、伊勢湾の愛知県側と渥美外海で水温が高くなっています。黒潮の本流が遠州灘に接近している影響により、渥美外海が高温傾向になっています。

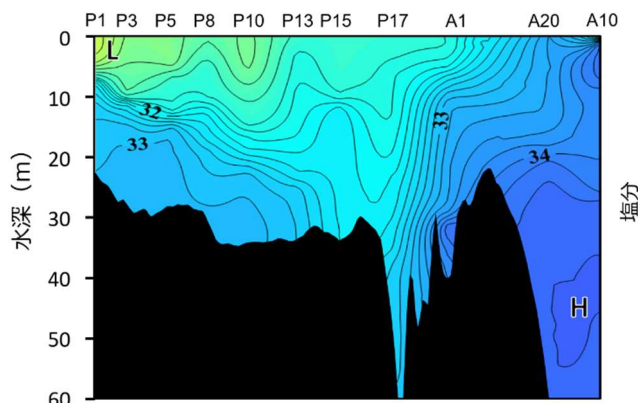
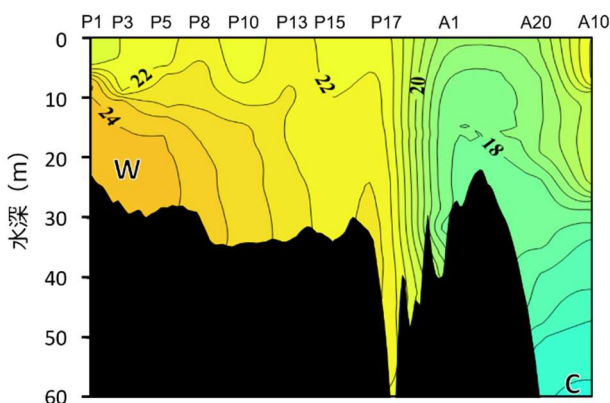
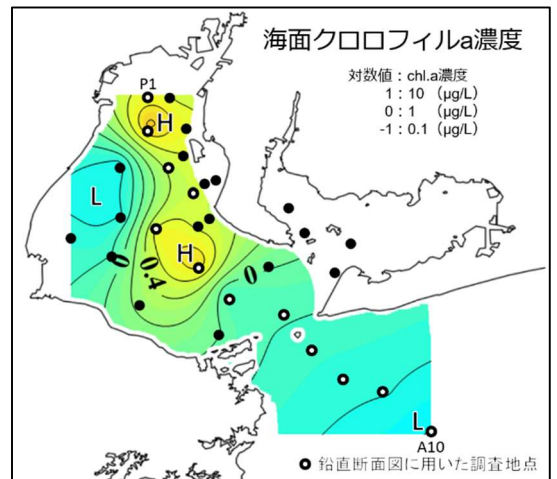
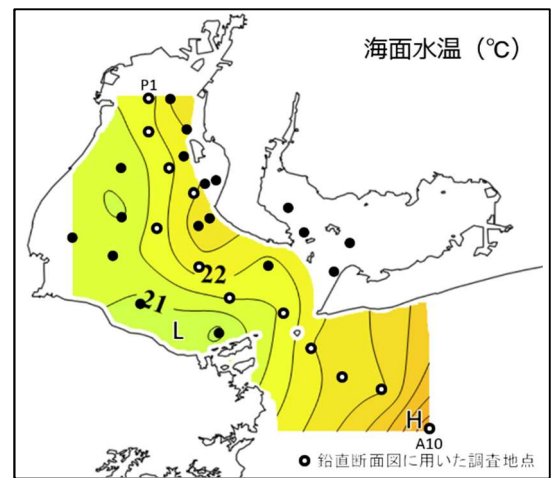
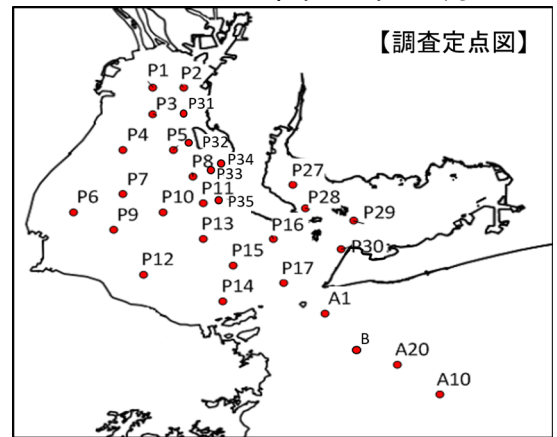
海面のクロロフィル a 濃度は、伊勢湾の湾奥から湾中央にかけての愛知県側で高く、伊勢湾三重県側と渥美外海で低くなっています。

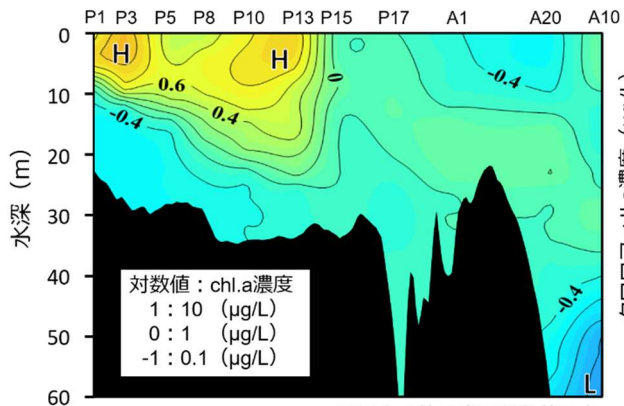
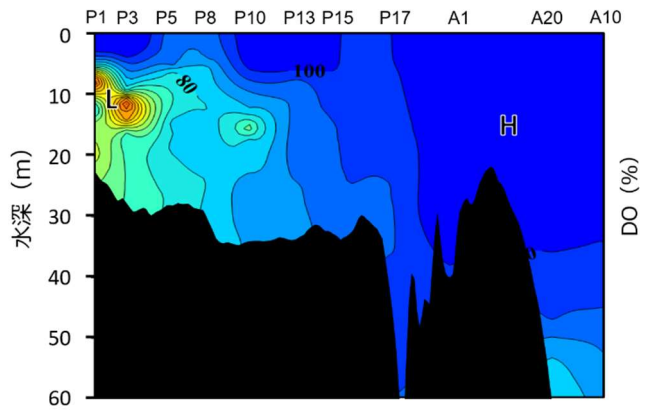
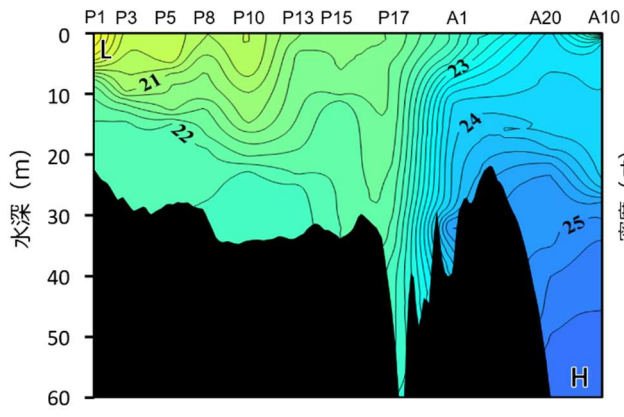
## 【鉛直分布（調査点：P1～A10）】

伊勢湾における湾奥（P1）から湾口（P17）にかけての表層は、河川水からの影響で低塩分の軽い水が分布し、湾口に向けて混合されています。外海側では、黒潮本流からの暖水波及により A10 の水深 30m まで高温・高塩分水が分布しています。一方で、底層から低温・高塩分の水が湧昇しています。

クロロフィル a 濃度は湾奥部（P1）から湾中央部（P13）にかけての表層から水深 20m を中心に極大層がみられます。また、外海（A10）の水深 30m から湾口（P17）の表層にかけても濃度がやや高くなっています。

湾奥部（P1）の水深 10m 付近には、小規模な貧酸素水塊（溶存酸素飽和度 30%以下）が浮上しています。





対数值：chl.a濃度  
 1 : 10 (μg/L)  
 0 : 1 (μg/L)  
 -1 : 0.1 (μg/L)

※図中の値は常用対数值です